

## 令和元年度 実施事業の概要

教育事業名:指導者養成研修夏 兼 体験会
期間 令和元年5月24日(金)～26日(日)
対象及び参加人数:大学生 学校教員 その他
目的: <ul style="list-style-type: none"><li>・自然体験活動の指導者として幅広い知識と技術をもち活躍できる人材の育成</li><li>・利用団体の引率者の研修の機会とし、妙高のフィールドや身近なフィールドでの自然体験指導者の育成</li><li>・自然体験指導者としてのスキルアップと資質の向上</li></ul>
事業概要: <p>1日目午前中に、指導者養成事業共通カリキュラム理論編を行い、指導者としての基礎知識や学校での教育事情を学んだ。2日目午後から3日目の午前まで、実技講習(妙高の自然と「学ぶ・遊ぶ」、星空観察、妙高アドベンチャー、源流探検、キャンプファイヤー、幼小の森の活動)を行い、指導技術を学んだ。</p>
成果: <p>指導者養成事業共通カリキュラム理論編では、「妙高の自然体験活動の概要・指導者としての心得・子供たちへの接し方・妙高自然体験活動の安全管理・子供たちは今どのように学んでいるか」について講義を行ったことにより、学習指導要領との関わりや教育施策など、最新の情報を共有することができた。また、指導員の指導法の基礎部分を共通認識する機会とすることができた。</p> <p>実技講習では、教え込み型ではなく、子供たちから疑問や気付きを引き出す指導の行い方や、道中にアイスブレイクを取り入れていくことでより指導員と子供・子供たち同士の距離が近くなり活発な話し合いが形成されていくことなどを学ぶことができた。また、星空観察やキャンプファイヤーなど、林間学校の引率で役に立つ内容を入れたことにより指導員を目指す人だけではなく、現職教員の参加もあった。</p>

課題: <p>実技講習では、野外での活動が中心だったのでメモを取りにくかった。最後に、講習内容のテキストなど振り返りで使える資料を用意しておくとい。</p>